

輪高図書館だより

輪島高校図書
令和4年6月
No.196

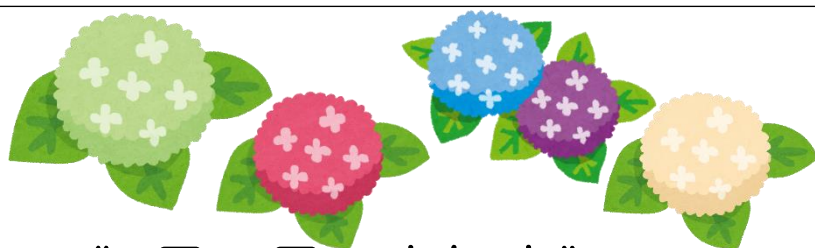


6月は旧暦名で「水無月みなづき」。

日本には美しい季語があります。6月の季語をいくつか紹介します。

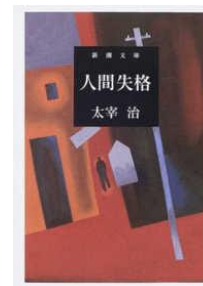
「早乙女」「蚕豆」「紫陽花」「蜥蜴」「夏至」「螢狩」「出水」

休み時間、放課後も図書館でも読書・学習・ちょっと一息にこれからも
どんどん利用してください。朝読書の本の貸出し、本のリクエストもどん
どんしてください。



《4月・5月の人気本》

- ◇ 2022年本屋大賞、第166回直木賞ノミネート、第11回アガサ・クリスティー賞
『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂 冬馬/著
- ◇ 『怪談5分間の恐怖』 中村 まさみ/著
- ◇ 『元彼の遺言状』 新川 帆立/著
- ◇ 『マカン・マラン』 古内 一絵/著
- ◇ 『ケーキの切れない非行少年たち』 宮口 幸治/著
- ◇ 『人間失格』 太宰 治/著



学校図書館には本がたくさんあります。

朝読書にもご利用ください、



私はいやなことがあったら本を読みます。

良いことがあっても、別に何もなくても、本を読みます。

本を寄りどころにできる人が増えることを願っています。

**前期図書委員長
松下彩香**



**友達になって下さい。
図書室にいつもいます。**

**前期図書副委員長
西浜那実**



本の貸出期間は2週間です。

返却期限の過ぎた本は、すぐに返却して下さい。

紫陽花が咲く時節になりましたね、図書館にも皆さんのあじさいの飾りが咲いています。我が家の庭にも、あじさいが咲いています。私の思い出の花。子どもの頃はたいして好きでもありませんでした。近年は沢山の品種の紫陽花があります。でんでん虫の殻うっかり破った事があります。あのかたつむりはどうなったのでしょうか。ごめんなさいでんでん虫さん。

本屋さんで文庫を見ていたら、懐かしい本に出会い、買いました。気が向いたら読むと思います。今はその本を眺めているだけで幸せです。

「せんそう」と言うときどんな本が思い浮かびますか。沢山有るけれど、『すみれ島』っていう本を知っていますか？ ー司書ー

もうすぐ図書館に七夕飾りを用意します。

五色の短冊に願い事を書きませんか。



先生！最近読んだ本を教えてください

—国語の先生編—

Q:最近読んだ本の中で 1 番印象に残った本とあらすじを教えてください。

取材者:図書委員 33H中谷

《橋場将之先生》

- ◇ 『仕事が速い人が無意識にしている工夫』
- ◇ 『できるリーダーは、「これ」しかやらない
—メンバーが自ら動き出す「任せ方」のコツ— 』
- ◇ 『プレイングマネジャーの基本
—メンバーが勝手に動く最高のチームをつくる— 』
- ◇ 『仕事と人生』



1番を決められなかったので、4冊を挙げました。(他にもまだあります)。
タイトルを見てもらうと、日々どのようなことを考えているかバれてしまい
そんな気がします。

「マネジメント」「リーダーシップ」という2つの言葉が、自分自身の中で
重要なキーワードになっており、読む本にかなりかたよりが生じています。

もう少し幅が広い読書をしたいのですが、なかなかできない事が最近の悩み
みです。



《川端葵先生》

- ◇ 『ミトンとふびん』

「愛は戦いじゃないよ。愛は奪うものでもない。そこにあるものだよ。」

この言葉は、夫に浮気をされた「私」の言葉だ。この本は短編集であり、
登場人物それぞれ傷を背負っている。傷への向き合い方を知りたい人は、
ぜひ読んでみてください。

《松本昭子先生》

◇ 『香君』 上橋菜穂子/著

あらゆるものの香りの声を感じ取る少女・アイシャが主人公。
上橋菜穂子はファンタジーな設定の上にとっても現実的なテーマを投げかけてくるので読み応えあります。



◇ 『俺ではない炎上』 浅倉秋成/著

殺人を匂わせるつぶやきを、フォロワーが千人いる大学生がリツイートしたことから、突然「女子大生殺人犯」に仕立てられた50代会社員。しかし会社の誰も彼の無実を信じてはくれない……。現代の SNS 社会についてなど、色々考えさせられる一冊でした。

◇ 『スモールワールズ』 一穂ミチ/著

2022年本屋大賞第3位。軽く読める短編小説です。「魔王の帰還」はせつなく、「ピクニック」は最後にゾツとさせられました。



◇ 『もうあかんわ日記』 岸田奈美/著

note で発信されていた日記をまとめたもの。冷静に読むととてもツラく、まさに「もうあかんわ」な現実なのに、それをユーモアに変えることで読者に「笑ってほしい」と発信し続けた筆者さんにただただ感服。

《作井美咲先生》

◇ 『鹿の王』 上橋菜穂子/著



強大な帝国にのまれてゆく故郷を守るために、死を求め闘う戦士団。その頭のヴァンは、奴隷に落とされ岩塩鉱に囚われる……。綿密な医療サスペンスにして、壮大なる冒険小説。

謎の病の感染とか隣国との微妙な関係とかが妙に現在の世界状況とリンクしていて考えさせられたよ。

図書室にある本もあります。近日中に入荷するものもあります。

気になったら是非手にとってみてください。